

工 種	舗 装	工 事 番 号	農 第 4 号	設計年月日	令和3年5月
工 事 箇 所	小矢部市 原牧 地内				
令和 3 年度					
林道原牧線舗装工事					
小 矢 部 市					
請 負 金 額		工 期	令和3年 6月10日 令和3年 8月31日		

< 理由 >

< 概要 >

林道舗装工事

L = 102.0 m W = 3.0 m (4.0 m)

- ・表層工 (密粒度AC13FA・t=4cm) A=306m²
- ・路盤工 (RC-40・t=15cm) A=316m²

特記仕様書

工事名：林道原牧線舗装工事

第1章 総則

この特記仕様書は、令和3年度に小矢部市が施工する林道原牧線舗装工事に適用するものとする。施工に当たっては、工事目的を十分に把握し、この特記仕様書と関係諸法規を遵守し、目的を達成するものとする。

第2章 一般関係

第1条 安全教育・訓練の実施

1. 労働安全衛生法等に基づき日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領」により毎月1回（半日）以上の頻度で実施するものとする。
2. 実施項目について「土木工事共通仕様書」第1-1-5条施工計画書の記載事項として「(10)安全管理」に含め、「安全教育・訓練の実施要領」の様式-1により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。
3. 安全・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、監督員及び検査員の請求があった場合は直ちに提示しなければならない。

第2条 工事実施前の措置及び事前事後調査

1. 受注者は、工事に先立ち、掘削位置、工法、交通保全、設備等について関係官公署の監督員と現地立会いを行い、許可条件、指示事項を確認すること。
2. 既存構造物に接近するとき、又は、撤去する場合には、関係者立会のうえ、現況に写真撮影、測量等の記録をした後、工事施工を行う。
3. 受注者は、あらかじめ沿道（周辺も含む）家屋等について事前調査を行い、善良な管理義務を怠ったことにより、家屋等物件に被害が認められた場合は、受注者が責任を持って処理するものとする。

第3条 測量

1. 受注者は、契約後指定の基準点に基づきすみやかに必要な測量を行うこと。
2. 仮B.Mは、位置高さの変動のないよう、適切な保護をすること。
3. 構造物が設計図書どおり築造できない場合や、設計図書等に記載のないものについては、監督員と協議すること。

第4条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地産品を優先使用するものとする。

第5条 工事材料の検査

主要材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。

第6条 アスファルト混合物

1. 受注者は、本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
2. 受注者は、上記により難いときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよい。

第7条 コンクリート配合

使用目的別の配合緒元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スラブ [°] (cm)	粗骨材の 最大寸法(mm)	W/C (%)	C (kg/mm ³)	セメントの種類	使用目的
1	18	8	40	60以下	—	BB	

高炉セメントを使用したコンクリートは初期養生に留意する。

第8条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は第7条コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して、セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第9条 下請け関係の適正化

本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項（共通仕様書）」を遵守すること。

第10条 産業廃棄物の適正処分

本工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理しなければならない。

第3章 公害対策・環境対策関係

第11条 公害防止

土砂の搬出等による公道等の路面汚損防止のため、路面が汚れた場合は、直ちに路面清掃を行うものとする。

第12条 施工機械

1. 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。

機種	備考
バックホウ トラクタショベル（車輪式） ブルドーザ 発動発電機（可搬式） 空気圧縮機（可搬式） 油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。 ：油圧ハンマ・バイブロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機・リバーサーキュレーションドリル・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機 ローラ類 〔ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ〕 ラフテレーンクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械を対象とする。

2. 排出ガス対策型建設機械を使用する場合は、施行計画書の中で、(1)機種、(2)メーカー名、(3)型式、(4)台数等を記載するものとする。また、「指定ラベル」が確認できる工事写真を提出するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械をやむを得ず使用できない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りでない。

第4章 安全対策関係

第13条 事故報告及び応急措置

1. 受注者は、工事中事故があったときは、直ちに所定の措置を講ずるとともに、監督員に通報し、事故発生の原因、経過、事故による被害内容及び今後の対策を講じた事故報告書を提出すること。

2. 受注者は、施工管理上の落ち度により第三者にあたえた被害について、受注者の負担により、措置を講ずるとともに、その内容を監督員に報告すること。

第14条 安全管理

1. 工事の施工にあたっては、必要に応じて交通整理員を配置し一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施行するものとする。
2. 受注者は、工事期間中、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。
3. 受注者は、機械器具、不要土砂等を交通及び保安上の障害とならないように使用のつど整備し、又は、現場外へ搬出し、工事現場内は常に整頓しておくこと。

第5章 建設発生土・建設副産物関係

第15条 建設発生土

本工事で発生する建設発生土については、発注者が指定した場所へ搬入すること。

種 別	処 分 地
残 土	小矢部市 原牧 地内

第16条 再生材の利用

次表の基礎砕石には再生砕石を使用するものとする。品質については、下表の資材は、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別暫定品質基準（案）」に基づくものとする。なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ砕石（新材）に変更できるものとする。

工 種	品 種	使用箇所
舗装工	RC-40	路盤

路盤材の修正 CBR は 30%以上とする。

第6章 工事支障物件

第17条 工事用支障物件

工事中障害物件が発見された場合、監督員に報告し、管理者と監督者と三者で協議し、移設、切回し、又は、防護を行うこと。

監督員に報告しないで、障害物件を処理したときに生じた損害については受注者の負担によって処理すること。

第7章 仮設工

第18条 仮設一般

1. 工事用仮設物は、あらかじめ施工計画書に示し、受注者の責任において、構造物の種類現場の状況に応じて、適切なものを設けること。
2. 指定仮設を変更しようとする時は、その理由を明記して、変更承認願いを提出するものとする。承認願いを提出せずに、施工した場合、監督員は、その施工の中止又はやり直しを命ずることができる。
3. 任意仮設は、変更設計の対象としない。

提出書類について（補足事項）

○工事着手届

- ・ 施工計画書に添付する施工計画表の概要を示すこと。現場代理人・主任技術者の資格証明の写しを添付すること。

○通行制限

- ・ 市道においては受注者自ら小矢部市建設課へ申請のこと。
- ・ 国・県道においては小矢部市農林課からの申請となるので、位置図、安全施設（看板）配置図交通規制図、安全対策を1部提出のこと。
（交通規制図は、各々の現場と整合したものとし、バリケード、交通誘導員、工事用信号機停止看板、保安等、チューブライトを明記すること。）

○工事材料使用願

- ・ 製品ごとの日付は記入のこと

○施工計画書

- ・ 記入項目は共通仕様書 1-1-5 条を参照。
- ・ 監督員と打合せの上、段階確認計画を記入のこと。
舗装コアの確認は段階確認で行い、直ちに埋めること。
- ・ 施工計画書の記載内容に重要な変更が生じた場合はその都度該当工事に着手する前に変更施工計画書を提出のこと。
- ・ 受注代金 200 万円未満の場合、施工計画書は提出不要。ただし監督員から請求があった場合は速やかに提示のこと。

○退職金制度加入の証明書または建退共掛金収納届出書

○廃棄物の運搬処分委託契約書の写し

○打合せ簿（その都度）

- ・ 設計図面と異なる場合の協議は、平面・縦断図・横断図に赤書きし、その他写真・資料等を添付してわかりやすくすること。

○完成時の提出書類

- ・ 平成 18 年 3 月 22 日付小検第 12 号「工事受注完成検査及び業務委託完了検査の必要書類について」を参照
- ・ 品質管理（アスファルト舗装敷均し時の温度管理抜けていることが多い）
- ・ 低騒音排気ガス対策機械の使用がわかる写真
- ・ 安全施設・交通整理員配置がわかる写真
- ・ 整理、整頓がわかる写真
- ・ 工事完成届
- ・ 工事引渡書
- ・ 受注代金請求書

※一部を除きすべて A 4 サイズとする。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	0003 農 林 課 実施設計書 当初 0		
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 27 砺波地区 0-03.05.15(0)		
諸経費体系	1 農地		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 電力区分(1) 電力区分(2) 豪雪地域補正 冬期労務補正 週休2日工事区分 施工地域区分 契約保証区分 現場環境改善費区分 消費税率(%)	40 21 舗装工事 01 臨時低圧電力 10 他季1 01 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 12 補正無し 03 補正なし 00 計上しない 10		

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
林道開設・改良							Y1J03
林道土工							Y2J0301
掘削工							Y3J030101
掘削[小規模] 土砂 上記以外(小規模)		60		m3			SP2001 0 A=1, B=5, F=7 施工 第0-0001号表
掘削[小規模] 土砂 上記以外(小規模)		5		m3			SP2001 0 A=1, B=5, F=7 施工 第0-0001号表
盛土工							Y3J030102
盛土(発生土)							Y4J03010202
路肩盛土		204		m			V00001 0 施工 第0-0002号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
残土処理工									Y3J030105	
積込（ルーズ）[小規模] 土砂 小規模（標準）	61		m ³						SP2007 0 A=1, B=4 施工 第0-0008号表	
舗装工									Y2J0310	
上層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚150mm 再生砕石 RC-40	316		m ²						SP4004 0 A=5, D=150, E=1, G=1 施工 第0-0009号表	
表層（車道・路肩部）[密粒度(13FA)再生] 平均仕上げ厚40mm 1.4m以上3.0m以下	306		m ²						SP4007 0 A=3, B=40, C=2, D=2, E=1 施工 第0-0010号表	
舗装工									Y2J0310	
上層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚150mm 再生砕石 RC-40	17		m ²						SP4004 0 A=5, D=150, E=1, G=1 施工 第0-0009号表	
表層（車道・路肩部）[密粒度(13FA)再生] 平均仕上げ厚40mm 1.4m未満(1層当り平均仕上げ厚50mm以下)	17		m ²						SP4007 0 A=1, B=40, C=2, D=2, E=1 施工 第0-0011号表	
縁石工									Y2J0314	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
縁石工						Y3J031401
アスカーブ						Y4J03140103
アスカーブ[細粒度(13F)再生] 断面積 125cm2以上140cm2未満	20		m			SP4010 0 A=1, B=1, C=1 施工 第0-0012号表
直接工事費						
共通仮設費(積上げ分)						
準備費						Z0003
林道看板			式			W0001
共通仮設費 (率分)	1		式			
共通仮設費計			式			

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費						
現場管理費						
工事原価			式			
一般管理費等						
工事価格			式			
消費税・地方 消費税相当額						
請負対象工事費						
工事価格計						
消費税・地方 消費税相当額						
			式			

小 矢 部

施工内訳表

SP2001

施工 第0-0001号表

[名称] 掘削[小規模]				1	m3	当り
[規格1] 土砂		[規格2] 上記以外(小規模)				
機械構成比: 30.52%		労務構成比: 58.07%		材料構成比: 11.41%		市場単価構成比: 0.00%
				標準単価:		1,106.8
代表機 労材 規格	構成比	単 価	代表機 労材 規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考	
バックホウ(クローラ型)標準型 山積0.28m3(平積0.2m3) 排出ガス対策型(第2次基準値)	30.52%		バックホウ		MHH107	
特殊運転手	58.07%		運転手(特殊) 東京単価		R0010	
軽油 1・2号	11.41%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106	
積算単価			積算単価		EP001	
A=1 土砂 F=7 標準			B=5 上記以外(小規模)			

S5004

施工内訳表

施工 第0-0006号表

頁0-0012

[名称] 人力による築立(土羽)整形 [規格1] 砂及び砂質土 粘性土		[規格2]		100	m ²	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
土木一般世話役		人			R0047	
普通作業員		人			R0002	
タンパ運転経費 タンパ 60~80kg		日			S5959	施工 第0-0007号表 A=1, B=0, C=5
合計	100	m ²				
単位当り	1	m ²				
A=0 歩掛補正						

小 矢 部

施工内訳表

[名称] タンパ運転経費 [規格1] タンパ 60~80kg		[規格2]				1	日	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
タンパ及びランマ 質量 60~80kg		日			M1750			
特殊作業員		人			R0001			
ガソリン レギュラー		L			T5101			
単位当り	1	日						
A=1 タンパ 60~80kg C=5 運転時間 (時間/日)			B=0	ガソリン消費量 (L/日)				

施工内訳表

SP2007

施工 第0-0008号表

[名称] 積込 (ルーズ) [小規模]		[規格2] 小規模(標準)		1	m3	当り
[規格1] 土砂		[規格2] 小規模(標準)				
機械構成比: 30.52%		労務構成比: 58.07%		材料構成比: 11.41%		市場単価構成比: 0.00%
				標準単価:		975.63
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
バックホウ (クローラ型) 標準型 山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)	30.52%		バックホウ		MHH107	
特殊運転手	58.07%		運転手 (特殊) 東京単価		R0010	
軽油 1・2号	11.41%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106	
積算単価			積算単価		EP001	
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)			

施工内訳表

SP4004

施工 第0-0009号表

[名称] 上層路盤(車道・路肩部)		[規格2] 再生砕石 RC-40		1	m ²	当り
[規格1] 全仕上り厚150mm		[規格2] 再生砕石 RC-40				
機械構成比: 10.44%		労務構成比: 30.39%		材料構成比: 59.17%		市場単価構成比: 0.00%
				標準単価:		541.41
代表機 労材 規格	構成比	単 価	代表機 労材 規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考	
モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排出ガス対策型(第2次基準値)	4.22%		モータグレーダ		MHH601	
ロードローラ(マカダム) 運転質量10t 締固め幅2.1m 排出ガス対策型(第2次基準値)	3.27%		マカダムローラ		MHH705	
タイヤローラ賃料	1.07%		タイヤローラ 東京単価 質量8~20t		TVH22	
その他(機械)			その他(機械)		EK009	
特殊運転手	13.97%		運転手(特殊) 東京単価		R0010	
特殊作業員	4.91%		特殊作業員 東京単価		R0001	
普通作業員	4.67%		普通作業員 東京単価		R0002	
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役 東京単価		R0047	
その他(労務)			その他(労務)		ER009	
再生砕石 (RC-40)	56.36%		再生粒度調整砕石 東京単価 RM-40 平均仕上がり厚 150mm		T7105	
軽油 1・2号	2.31%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106	

施工内訳表

SP4004

施工 第0-0009号表

[名称] 上層路盤 (車道・路肩部)			1 m ² 当り		
[規格1] 全仕上り厚150mm			[規格2] 再生砕石 RC-40		
機械構成比: 10.44%		労務構成比: 30.39%		材料構成比: 59.17%	
				市場単価構成比: 0.00%	
				標準単価: 541.41	
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	
その他(材料)				その他(材料)	
				備考	
				EZ009	
積算単価				積算単価	
				EP001	
A=5	再生砕石	RC-40		D=150	全仕上り厚 (mm)
E=1	1層施工			G=1	割り増しなし

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0010号表

頁0-0017

[名称] 表層(車道・路肩部) [密粒度(13FA)再生]		[規格2] 1.4m以上3.0m以下		1	m ²	当り
[規格1] 平均仕上げ厚40mm		[規格2] 1.4m以上3.0m以下				
機械構成比: 1.81%		労務構成比: 13.91%		材料構成比: 84.28%		市場単価構成比: 0.00%
				標準単価:		1,634.8
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
アスファルトフィニッシュ賃料 [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m	1.21%		アスファルトフィニッシュ 東京単価 [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		TVH53	
振動ローラ賃料	0.25%		振動ローラ(舗装用) 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t		TVH42	
タイヤローラ賃料	0.22%		タイヤローラ 東京単価 質量3~4t		TVH20	
その他(機械)			その他(機械)		EK009	
普通作業員	4.96%		普通作業員 東京単価		R0002	
特殊作業員	3.41%		特殊作業員 東京単価		R0001	
特殊運転手	3.36%		運転手(特殊) 東京単価		R0010	
土木一般世話役	1.15%		土木一般世話役 東京単価		R0047	
その他(労務)			その他(労務)		ER009	
アスファルト合材 再生材入り 密粒度アスコン(13FA)	76.98%		アスファルト混合物 東京単価 密粒度AS混合物(20) 平均仕上げ厚 50mm		T7162	
アスファルト乳剤 PK-3	7.05%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用		T4872	

小 矢 部

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0010号表

[名称] 表層(車道・路肩部) [密粒度(13FA)再生]		[規格1] 平均仕上げ厚40mm		[規格2] 1.4m以上3.0m以下		1	m ²	当り
機械構成比: 1.81%		労務構成比: 13.91%		材料構成比: 84.28%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,634.8
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
軽油	1・2号	0.24%		軽油	東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106	
その他(材料)				その他(材料)			EZ009	
積算単価				積算単価			EP001	
A=3	1.4m以上3.0m以下			B=40	1層当り平均仕上り厚 (mm)			
C=2	密粒度アスコン (13FA) 再生材入り			D=2	プライムコート PK-3			
E=1	割り増しなし							

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0011号表

頁0-0019

[名称] 表層(車道・路肩部) [密粒度(13FA)再生]		1	m ²	当り	
[規格1] 平均仕上げ厚40mm		[規格2] 1.4m未満(1層当り平均仕上げ厚50mm以下)			
機械構成比: 0.50%		労務構成比: 43.62%		材料構成比: 55.88%	
		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,466.5	
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.29%		振動ローラ(舗装用)		M1730
振動コンパクト 前進型 質量40~60kg	0.14%		振動コンパクト(前進型)		M1754
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.62%		特殊作業員 東京単価		R0001
普通作業員	13.68%		普通作業員 東京単価		R0002
土木一般世話役	3.98%		土木一般世話役 東京単価		R0047
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト合材 再生材入り 密粒度アスコン(13FA)	51.04%		アスファルト混合物 東京単価 密粒度AS混合物(20) 平均仕上げ厚50mm		T7162
アスファルト乳剤 PK-3	4.67%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用		T4872
ガソリン レギュラー	0.12%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T5101
軽油 1・2号	0.03%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106

小 矢 部

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0011号表

[名称] 表層(車道・路肩部) [密粒度(13FA)再生]			1 m ² 当り		
[規格1] 平均仕上げ厚40mm			[規格2] 1.4m未満(1層当り平均仕上げ厚50mm以下)		
機械構成比: 0.50%		労務構成比: 43.62%	材料構成比: 55.88%		市場単価構成比: 0.00%
					標準単価: 2,466.5
代表機労材規格		構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
その他(材料)				その他(材料)	EZ009
積算単価				積算単価	EP001
A=1	1.4m未満(1層当り平均仕上げ厚50mm以下)			B=40	1層当り平均仕上げ厚 (mm)
C=2	密粒度アスコン (13FA) 再生材入り			D=2	プライムコート PK-3
E=1	割り増しなし				

施工内訳表

SP4010

施工 第0-0012号表

[名称] アスカーブ[細粒度(13F)再生]		[規格2]		1	m	当り
[規格1] 断面積 125cm ² 以上140cm ² 未満		[規格2]				
機械構成比: 4.76%	労務構成比: 61.84%	材料構成比: 33.40%	市場単価構成比: 0.00%	標準単価:	869.9	
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック (オンロード・ディーゼル) 2t積級	2.73%		ダンプトラック		M0301	
アスファルトカーバ ガソリンエンジン駆動式 能力 4.0~4.5m ³ /h	1.76%		アスファルトカーバ		M2025	
その他(機械)			その他(機械)		EK009	
普通作業員	28.05%		普通作業員 東京単価		R0002	
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役 東京単価		R0047	
特殊作業員	10.71%		特殊作業員 東京単価		R0001	
一般運転手	8.71%		運転手 (一般) 東京単価		R0011	
その他(労務)			その他(労務)		ER009	
アスファルト合材 再生材入り 細粒度アスコン(13F)	31.72%		再生アスファルト混合物 東京単価 再生細粒度AS混合物(13)		T7164	
軽油 1・2号	1.19%		軽油 東京単価 1・2号 パトロール給油		T5106	
ガソリン レギュラー	0.40%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T5101	

施工内訳表

SP4010

施工 第0-0012号表

[名称] アスカーブ[細粒度(13F)再生]				1	m	当り
[規格1] 断面積 125cm2以上140cm2未満		[規格2]				
機械構成比: 4.76%	労務構成比: 61.84%	材料構成比: 33.40%	市場単価構成比: 0.00%	標準単価:	869.9	
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
その他(材料)			その他(材料)		EZ009	
積算単価			積算単価		EP001	
A=1 C=1	125cm2以上140cm2未満 割り増しなし		B=1 細粒度アスコン (13F) 再生材入り			

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
本工事費						
林道開設・改良			式			
林道土工			式			
掘削工			式			
盛土工			式			
盛土(発生土)			式			
残土処理工			式			
舗装工			式			
舗装工			式			
縁石工			式			
縁石工			式			
アスカーブ			式			
直接工事費						
共通仮設費(積上げ分)						
準備費			式			
共通仮設費 (率分)						
共通仮設費計						
純工事費						

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
現場管理費						
工事原価						
一般管理費等						
工事価格						
消費税・地方消費税相当額						
請負対象工事費						
工事価格計						
消費税・地方消費税相当額						
請負対象工事費計						

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M1750	182			日	タンパ	締固め機械損料
2	R0001	150			人	特殊作業員	公共工事設計労務単価
3	R0002	150			人	普通作業員	公共工事設計労務単価
4	R0047	150			人	世話役	公共工事設計労務単価
5	T5101	132			L	ガソリン	ガソリン
6	TVH50	199			供用日	タンパ賃料	リース料

林道原牧線舗装工事

○工事内訳

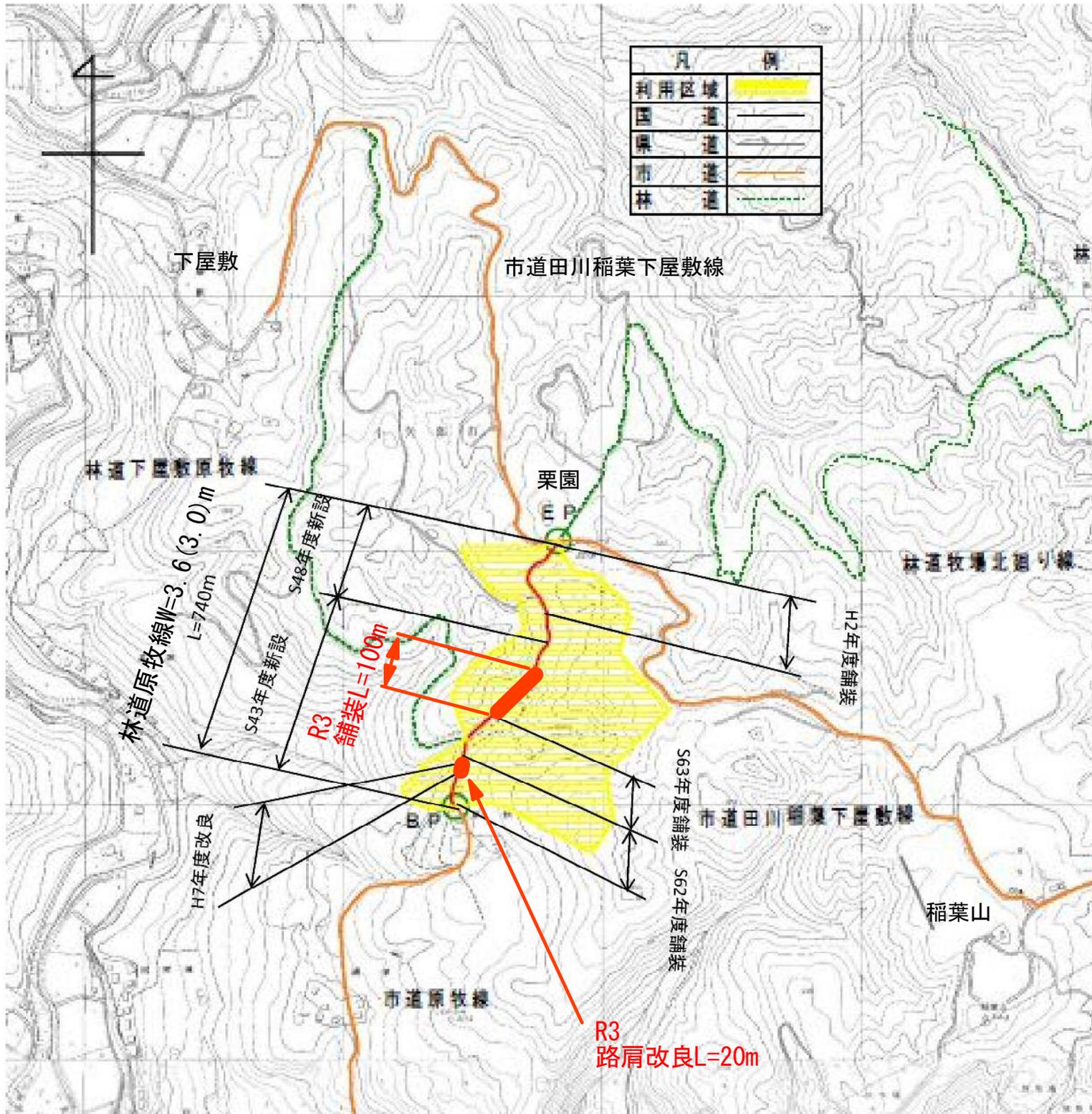
舗装延長 L=102m 幅員 W=3.0m (4.0m)

○工事数量

土 工			
機械掘削			60 m ³
	$3.1 \times 102.0m \times 0.19m$	$= 60.078$	
機械掘削(改良部)			5 m ³
	$0.5 \times 33.0m \times 0.30m$	$= 4.95$	
残土処理			61 m ³
現場内処理(掘削-路肩盛土)			
	$65.028 - 4.284$	$= 60.744$	
路肩盛土工			204 m
	$102.0m \times 2$	$= 204.0$	
(10m当たり算定)			
盛土材		0.210	m ³
盛土同上		0.210	m ³
盛土法面整形		0.74	m ²
舗装工			
路盤工			316 m ²
	$3.1 \times 102.0m$	$= 316$	
表層工			306 m ²
	$3.0 \times 102.0m$	$= 306$	
舗装工(改良部)			
路盤工			17 m ²
	$0.5 \times 33.0m$	$= 16.5$	
表層工			17 m ²
	$0.5 \times 33.0m$	$= 16.5$	
アスカーブ			20 m

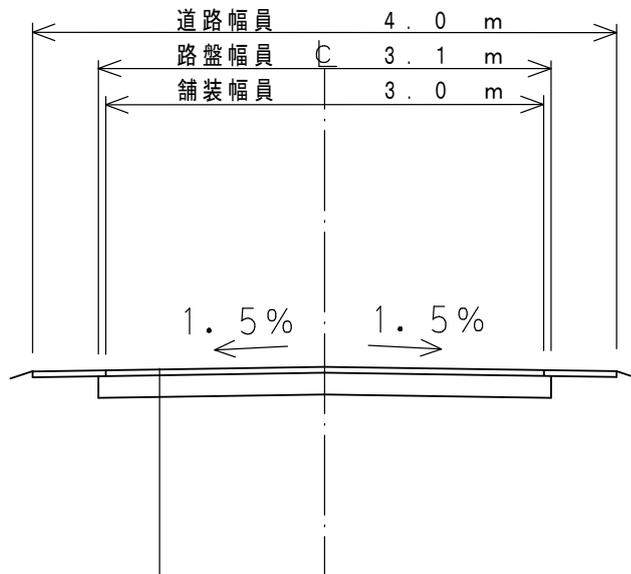
林道整備事業

林道原牧線舗装工事 位置図



標準断面図

縮尺 1/50



表層工	密粒度 AC13FA	t = 4 cm
路盤工	再生碎石 RC-40	t = 15 cm

路肩構造

縮尺 1/10

